



2026年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年5月15日

上場会社名 GMOインターネット株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4784 URL https://internet.gmo/
 代表者（役職名）代表取締役 社長執行役員（氏名）伊藤 正
 問合せ先責任者（役職名）執行役員（氏名）菅谷 俊彦 TEL 03-5728-7900
 配当支払開始予定日 2026年6月22日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有（アナリスト・機関投資家向け／ライブ配信のみ）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年12月期第1四半期の連結業績（2026年1月1日～2026年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第1四半期	20,378	6.8	2,440	49.5	2,414	44.2	1,652	30.7
2025年12月期第1四半期	19,080	452.4	1,631	—	1,674	—	1,264	—

（注）包括利益 2026年12月期第1四半期 1,603百万円（25.7%） 2025年12月期第1四半期 1,275百万円（—%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第1四半期	6.02	6.02
2025年12月期第1四半期	4.61	4.61

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第1四半期	56,852	14,119	24.0
2025年12月期	51,528	14,069	26.6

（参考）自己資本 2026年12月期第1四半期 13,626百万円 2025年12月期 13,686百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	4.61	4.17	5.84	5.64	20.26
2026年12月期	6.02	—	—	—	—
2026年12月期（予想）	—	—	—	—	21.51

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2025年12月期第1四半期配当金の内訳 記念配当1円61銭 普通配当3円00銭

2025年12月期第2四半期配当金の内訳 記念配当1円47銭 普通配当2円70銭

2025年12月期第3四半期配当金の内訳 記念配当2円04銭 普通配当3円80銭

2025年12月期第4四半期配当金の内訳 記念配当1円94銭 普通配当3円70銭

2026年12月期第1四半期配当金の内訳 記念配当2円12銭 普通配当3円90銭

なお、配当予想については、年間の配当金額のみ公表しておりますが、配当支払いは四半期ベースを予定しております。

3. 2026年12月期の連結業績予想（2026年1月1日～2026年12月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	82,000	4.4	9,460	15.0	9,100	9.0	5,900	6.1	20.05

（注）1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 1株当たり当期純利益については、2026年4月27日付で払込完了した公募による新株式の発行に伴う公募増資分（30,000,000株）を含めて算定しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 — 社（社名） — 、除外 — 社（社名） —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2026年12月期 1 Q	274,698,528株	2025年12月期	274,698,528株
2026年12月期 1 Q	451,504株	2025年12月期	451,504株
2026年12月期 1 Q	274,247,024株	2025年12月期 1 Q	274,109,458株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想については添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足資料の入手方法について）

当社は、本日（2026年5月15日）にライブ配信での決算説明会を開催いたします。当日使用する決算説明資料については、本決算短信の開示と同時に、当社ホームページ及びTDNetに掲載いたします。

また、説明会の模様及び説明内容（動画）については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(重要な後発事象)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当社グループは、親会社であるGMOインターネットグループの祖業であるインターネットインフラ事業と、インターネット広告・メディア事業を構成する連結企業集団として、創業以来掲げてきた「すべての人にインターネット」というコーポレートキャッチのもと、持続可能なインターネットの可能性を追求し、イノベーションを通じて新たな価値創造で社会に貢献すべく事業を展開しております。

当社グループの事業領域であるインターネットインフラ事業につきましては、インターネットの継続的な普及はもとより、DXの進展やオンライン消費の定着に加え、生成AIの学習・推論用途などで、市場は今後大きく拡大することが見込まれており、データセンター向けGPUサーバー市場につきましては、2024年から2029年にかけて年平均成長率(CAGR) 39%で急拡大することが予測されております(株式会社富士キメラ総研調べ)。また、インターネット広告市場につきましては、SNS上の縦型動画広告やコネクテッドTV(インターネットに接続されたテレビ受像機)などの動画広告需要の高まりが、市場全体の拡大に寄与しております。2025年度のインターネット広告費が4兆459億円(前年比10.8%増)と、初の4兆円超えとなり、総広告費の50.2%とはじめて過半数を超える規模となっております(株式会社電通調べ)。

当第1四半期連結累計期間においては、インターネットインフラ事業において、既存事業が引き続き堅調に推移するとともに、新規事業である「GMO GPUクラウド」が利益貢献フェーズに入ったことで、売上高及び利益が伸びました。インターネット広告・メディア事業においては、広告主によるマーケティングに関するインハウス化などの業界構造の変化による影響を受け、売上高は減少したものの、組織再編の効果により利益は回復しており、併せてストック型商材の拡販を推進しております。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は20,378百万円(前年同期比6.8%増)、営業利益は2,440百万円(前年同期比49.5%増)、経常利益は2,414百万円(前年同期比44.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,652百万円(前年同期比30.7%増)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

① インターネットインフラ事業

「インターネットインフラ事業」はインターネットを利用する上で無くならない、無くてはならないインフラに関するサービスを提供しております。主な商材は、インターネットにおける住所となる「ドメイン」、データを保管するための「サーバー」、インターネットに接続するための回線・プロバイダーといったサービスのほか、AI・機械学習の開発基盤となる「GMO GPUクラウド」が当セグメントに含まれております。また、Z.comブランドで展開する海外インフラ事業(主にベトナム、タイを中心としたアジア諸国)も当セグメントに含まれております。

当第1四半期連結累計期間におきましては、ドメインやサーバー、インターネット接続といった既存事業の売上・利益が引き続き堅調に推移いたしました。特にインターネット接続(プロバイダー)事業におきましては、「GMO とくとくBB」をはじめとする自社商材の販売に注力し、販売ミックスの最適化を図ることで利益改善を重視し、岩盤ストック収益の強化を図っております。「GMO GPUクラウド」につきましては、前第4四半期連結会計期間での事業単体黒字化を経て、安定的な稼働・収益貢献フェーズに入っております。加えて、Turing株式会社との戦略的パートナーシップや、CTC(伊藤忠テクノソリューションズ株式会社)との販売パートナー契約を通じ、多様な業界への導入及び安定的な収益基盤の確立を推進しております。

これらの結果、インターネットインフラ事業の売上高は17,584百万円(前年同期比12.9%増)、セグメント利益は2,216百万円(前年同期比34.0%増)となりました。

② インターネット広告・メディア事業

「インターネット広告・メディア事業」は主に、広告商品の販売や提供する広告の管理運用といったインターネット広告代理事業をはじめ、広告配信プラットフォーム「GMOSSP」の提供、自社Webメディアの運営やそれに付随するツールの提供などを行っております。

当第1四半期連結累計期間におきましては、前期に引き続き広告主のマーケティングに関するインハウス化などの業界構造の変化による影響を受け、売上高は減少いたしました。一方で、全社での組織体制の最適化を目的とした配置転換等の組織再編の効果が寄与し、利益面では前年同期と比較して回復を遂げております。また、インターネットインフラ事業との事業間シナジーの創出に向けた取り組みとして、インターネットインフラ事業が有する強固な顧客基盤に対し、当セグメントのマーケティングノウハウを活かした集客支援サービスを提供しております。主には、自社商材であるAIを活用したWeb集客総合ツール「GMO AIかんたん集客」の提供を通じて、SEO対策やSNS運用、記事制作などをAIで効率かつ高品質に運用できる環境を展開し、お客様のドメイン取得後の集客ニーズをサポートすることで、ストック収益化を図る取り組みを推進しております。

これらの結果、インターネット広告・メディア事業の売上高は2,981百万円（前年同期比17.1%減）、セグメント利益は298百万円（前年同期比23.7%増）となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計につきましては、前連結会計年度末に比べて5,323百万円増加し56,852百万円となりました。これは、主に投資有価証券が3,121百万円の増加、リース資産が1,680百万円の増加、現金及び預金が1,078百万円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計につきましては、前連結会計年度末に比べて5,272百万円増加し42,732百万円となりました。これは、主に短期借入金が増加し8,200百万円、未払法人税等が1,766百万円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計につきましては、前連結会計年度末に比べて50百万円増加し14,119百万円となりました。これは主に利益剰余金が増加し105百万円（親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により1,652百万円の増加、配当金の支払いにより1,546百万円の減少）増加したこと等によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書を作成しておりませんので、記載を省略しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年2月12日に公表しました2026年12月期の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,888	14,966
受取手形、売掛金及び契約資産	12,135	12,415
前払費用	6,580	6,629
前渡金	2,006	1,521
その他	1,518	1,709
貸倒引当金	△443	△491
流動資産合計	35,686	36,751
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	916	889
工具、器具及び備品（純額）	5,402	4,810
リース資産（純額）	2,784	4,465
その他	97	87
有形固定資産合計	9,201	10,253
無形固定資産		
のれん	1,335	1,307
ソフトウェア	1,791	2,042
その他	706	468
無形固定資産合計	3,832	3,818
投資その他の資産		
投資有価証券	1,016	4,138
繰延税金資産	1,199	1,293
その他	692	695
貸倒引当金	△100	△98
投資その他の資産合計	2,808	6,028
固定資産合計	15,842	20,100
資産合計	51,528	56,852

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,586	3,585
短期借入金	—	8,200
1年内返済予定の長期借入金	1,381	1,381
リース債務	1,075	1,394
未払金	6,665	5,645
未払法人税等	2,628	861
契約負債	10,241	10,589
賞与引当金	118	156
役員賞与引当金	5	—
ポイント引当金	44	44
その他	4,939	2,958
流動負債合計	30,685	34,817
固定負債		
長期借入金	4,123	3,777
リース債務	2,290	3,852
繰延税金負債	11	8
退職給付に係る負債	63	35
その他	285	241
固定負債合計	6,773	7,915
負債合計	37,459	42,732
純資産の部		
株主資本		
資本金	500	500
資本剰余金	9,621	9,524
利益剰余金	3,321	3,426
自己株式	△179	△179
株主資本合計	13,263	13,271
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	402	328
為替換算調整勘定	20	26
その他の包括利益累計額合計	422	354
新株予約権	206	257
非支配株主持分	176	235
純資産合計	14,069	14,119
負債純資産合計	51,528	56,852

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
売上高	19,080	20,378
売上原価	12,702	13,492
売上総利益	6,377	6,886
販売費及び一般管理費	4,745	4,446
営業利益	1,631	2,440
営業外収益		
受取利息	3	8
受取配当金	12	20
為替差益	23	—
投資事業組合運用益	14	6
その他	18	6
営業外収益合計	72	41
営業外費用		
支払利息	28	37
為替差損	—	17
その他	1	12
営業外費用合計	29	67
経常利益	1,674	2,414
税金等調整前四半期純利益	1,674	2,414
法人税、住民税及び事業税	391	820
法人税等調整額	14	△59
法人税等合計	405	761
四半期純利益	1,268	1,653
非支配株主に帰属する四半期純利益	3	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,264	1,652

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
四半期純利益	1,268	1,653
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6	△73
為替換算調整勘定	—	23
その他の包括利益合計	6	△50
四半期包括利益	1,275	1,603
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,271	1,596
非支配株主に係る四半期包括利益	3	6

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	インター ネット インフラ事業	インター ネット 広告・ メディア事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	15,567	3,454	19,021	59	—	19,080
セグメント間の内部売上高 又は振替高	10	140	150	—	△150	—
計	15,577	3,594	19,172	59	△150	19,080
セグメント利益	1,653	241	1,895	28	△292	1,631

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントです。

2. セグメント利益の調整額△292百万円は、主にセグメント間内部取引消去や報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「インターネットインフラ事業」セグメントにおいて、海外子会社の株式を取得し、9社を連結の範囲に含めたことにより、のれんを計上しております。当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間においては1,643百万円であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	インター ネット インフラ事業	インター ネット 広告・ メディア事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	17,517	2,819	20,336	42	—	20,378
セグメント間の内部売上高 又は振替高	67	161	229	—	△229	—
計	17,584	2,981	20,565	42	△229	20,378
セグメント利益	2,216	298	2,514	2	△76	2,440

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントです。

2. セグメント利益の調整額△76百万円は、主にセグメント間内部取引消去や報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
減価償却費	1,150百万円	1,124百万円
のれんの償却額	2 "	42 "

(重要な後発事象)

(新株式発行及び株式の売出し)

当社は、2026年4月10日開催の取締役会において、公募による新株式の発行（一般募集）、当社株式の売出し（引受人の買取引受けによる売出し）、当社株式の売出し（オーバーアロットメントによる売出し）を行うことを決議し、公募による新株式発行については、2026年4月20日に発行価格等の決定を経て、2026年4月27日に払込を完了し、当社株式の売出し（引受人の買取引受けによる売出し）及び当社株式の売出し（オーバーアロットメントによる売出し）については、2026年4月28日に受渡しが完了しております。

その概要は以下のとおりであります。

1. 公募による新株式発行（一般募集）

発行する株式の種類及び数	当社普通株式 30,000,000株
発行価格	1株につき 710円
発行価格の総額	21,300,000,000円
払込金額	1株につき 679.44円
払込金額の総額	20,383,200,000円
増加した資本金及び資本準備金の額	増加した資本金の額 10,191,600,000円 増加した資本準備金の額 10,191,600,000円
申込期間	2026年4月21日から2026年4月22日まで
払込期日	2026年4月27日

2. 当社株式の売出し（引受人の買取引受けによる売出し）

売出株式の種類及び数	当社普通株式 61,500,000株
売出人	GMOインターネットグループ株式会社
売出価格	1株につき 710円
売出価格の総額	43,665,000,000円
引受価額	1株につき 679.44円
引受価額の総額	41,785,560,000円
申込期間	2026年4月21日から2026年4月22日まで
受渡期日	2026年4月28日

3. 当社株式の売出し（オーバーアロットメントによる売出し）

売出株式の種類及び数	当社普通株式 13,725,000株
売出人	大和証券株式会社
売出価格	1株につき 710円
売出価格の総額	9,744,750,000円
売出方法	一般募集及び引受人の買取引受けによる売出しの需要状況等を勘案した上で、大和証券株式会社が当社株主から13,725,000株を上限として借入れる当社普通株式の売出しを行う。
申込期間	2026年4月21日から2026年4月22日まで
受渡期日	2026年4月28日

4. 調達資金の用途

一般募集による手取概算額20,274,200,000円については、3,200,000,000円を2026年5月末までに、Turing株式会社との間で締結したGPUクラウド分野における戦略的パートナーシップ（Turing株式会社の完全自動運転AI開発を支えるため、「GMO GPUクラウド」を4年間にわたり提供）のための出資に伴い、GMOインターネットグループ株式会社から調達した借入金の返済資金に、16,557,000,000円を2027年12月末までに、「GMO GPUクラウド」の業容拡大に向けた新規GPUサーバーの設備投資資金に、残額を2026年5月末までに、運転資金として取引銀行から調達した借入金の返済資金に充当する予定であります。

(重要な設備投資)

当社は、2026年4月10日開催の取締役会において、以下のとおり、設備投資を行うことを決議いたしました。

1. 設備投資の目的

GPUクラウドサービスである「GMO GPUクラウド」の提供状況・需要を鑑み、GPUチップほか、サービスの提供に必要なとなる機材を追加導入いたします。

2. 設備投資の内容

(1) 内容	GPUサーバー並びにその周辺設備等
(2) 投資予定額	69億円（予定） ※周辺設備に対する金額も含んでいます。

3. 設備の導入時期

2026年8月より順次取得（予定）

4. 当該設備が営業・生産活動に及ぼす重要な影響

本件に係るサービス提供開始は2026年8月頃から順次取得を予定しており、2026年12月期連結業績へ与える影響は軽微であると判断しております。